

改善報告書

令和2年6月15日

1. 短期大学名：福岡こども短期大学

2. 認証評価実施年度：平成29年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：3-6

- 入学者確保及び退学・除籍者縮減による学生生徒納付金の増収や、外部資金の獲得などにより、経常収支の改善を図り、純資産を充実するなど、財務基盤を強化するための改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目3-6について

入学者確保については、平成29年度【93.3%】をピークに平成30年度【75.7%】令和元年度【69.0%】令和2年度【65.0%】直近3年間の推移は減少しています。入学者数の減少に伴い収容定員に対する比率も減少しております。退学・除籍者の状況といたしましては、学生数の減少に伴い年々減少しています。経常収支も令和元年度は、▲41百万円の実績となっており、前年対比84百万円減少しております。今後も教育研究支出及び管理経費等コスト削減に努め経常収支改善に努力して参ります。又、外部資金の獲得においても令和元年度までの実績はないが、令和元年10月に特定公益増進法人としての認可をいただきましたので今後は僅かでも寄付受け等が見込まれるものと思料いたします。又、施設の耐震補強工事を除く、大きな設備等の調達及び改修工事等は全て令和元年度までに完了しておりますので今後は新入生の確保等については改善していくものと思料いたします。尚、純資産においては、法人全体で前年対比12.8億円減少しております。この要因としましては、不動産売却のおり売買金額と簿価との差額8.9億円及び有価証券評価替えによる差額6.8億円で合計15.7億円となっています。上記を考慮しますと単年度の純資産額は2.9億円増加しているものです。以上により今後の財務基盤は安定していくものと思料いたします。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目3-6の資料

- ・入学者数等の推移
- ・事業活動収支実績 【平成28年度～令和元年度】
- ・中期収支計画 『福岡こども短期大学・法人全体』【令和元年度～令和5年度】
- ・計算書 【平成28年度～令和元年度】